

長崎県選挙管理委員会委員長談話

本日、長崎県知事選挙の期日が告示され、来る二月八日（日曜）に投票が行われることになりました。

選挙は、有権者が投票という手段により政治に参加し、主権者としてその意思を政治に反映させることのできる、もっとも重要な制度です。とりわけ県民のリーダーである県知事を選出することの選挙は、県民が県政に対してその意思を反映させることのできる大切な機会であります。

有権者の皆様は、この選挙の重要性を十分認識され、各候補者の人柄や識見、政策等を見極め、自らの自由な判断によって、もれなく貴重な一票を投ぜられるよう切望いたします。

近年の各種選挙において、全国的に若い世代の投票率が低い傾向がみられます。この選挙は長崎県の未来をつくる重要な選挙であり、本県の未来を担う若い世代の皆様に対し、投票への参加を強くお願いする次第です。

なお、投票日当日、やむを得ない用件などで投票できない方は、期日前投票制度や不在者投票制度がありますので、こうした制度を十分に活用いただき、貴重な一票を無駄にすることのないようお願いいたします。

候補者をはじめ運動員の方々には、有権者に対し政見を訴えていただくとともに、選挙のルールを守り、公正な選挙運動を展開され、有権者の期待と信頼に応えられるようお願いいたします。

「あなたの一票が長崎を動かす！」

県民の皆様の投票総参加を願い、民主政治の健全な発展を期するため、ここに強くお願いする次第です。

令和八年一月二十二日

長崎県選挙管理委員会委員長 渡邊 敏則